

授業科目名	演劇ワークショップ実習C	担当教員	山内 健司 田上 豊
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	実習		
開講年次	2年第2クォーター		
講義内容	この授業の目的は、短期間で集中して（夏季集中講義）「豊岡についての作品を、豊岡でつくり、豊岡で上演する」こと。しゃべり言葉を調べるフィールドワークを行い、「豊岡ノート」という作品をつくる。戯曲のセリフが書かれた話し言葉であるのに対し、私たちがしゃべっている本物の話し言葉の複雑さ豊かさともむきあい、言葉が生成されることの不思議さに触れ、言葉を生成する演技という行為の本質ともむきあう。豊岡の街に出て、気になる人にインタビューを試み、「今」のリアルな一期一会の会話を採集。採集したテキストを、詳細に分析し、それをもとに作品「豊岡ノート」を製作、上演する。演技という窓から、他者を訪れる試み。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.私たちがしゃべっている言葉そのものの複雑さ豊かさについて述べることができる。</li> <li>2.街で出会うしゃべり言葉に分け入り、他者を演じることができる。</li> <li>3.豊岡についての作品を、豊岡でつくり、豊岡で上演することができる。</li> </ol>		
授業計画	<p>少人数できめ細やかな実習を実施し、専門的な学びの入口を伝えます。オムニバス形式をとることで、分野の異なる複数の実演家の指導を受けます。なぜこの地で演劇を行うのかという問いをもとに「豊岡の作品を、豊岡でつくり、豊岡で上演する」ための学びをおこないます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1日目 豊岡市に暮らす生活から立ち上げる言葉で書くことを体験する「戯曲」の視点を学ぶ基本姿勢を伝える（講師1・劇作家視点）</li> <li>2日目 豊岡市に暮らす生活から立ち上げる言葉で書くことを体験する「戯曲」の視点を学ぶ、発表（講師1・劇作家視点）</li> <li>3日目 豊岡に集う人々の場作りをオーガナイズする「演出」の視点を学ぶ基本姿勢を伝える（講師2・演出家視点）</li> <li>4日目 豊岡に集う人々の場作りをオーガナイズする「演出」の視点を学ぶ、発表（講師2・演出家視点）</li> <li>5日目 豊岡に生活する私たち自身の体と声を起点とした「演技」の視点を学ぶ基本姿勢を伝える（講師3・俳優視点）</li> <li>6日目 豊岡に生活する私たち自身の体と声を起点とした「演技」の視点を学ぶ、発表（講師3・俳優視点）</li> </ol>		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表にむけての個人的な準備（リサーチ、セリフ入れ、演技の課題設定）を十分に行なって授業に臨むこと。</li> <li>・あわせて、相手役との練習を十分に行なって発表に臨むこと。</li> </ul>		
テキスト			
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業において参考資料を配付する。</li> <li>・授業内で参考文献等を適宜紹介する。</li> </ul>		

成績評価の基準	・授業内での取り組み・発言（50%） ・発表における取り組み・発言（50%）
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	芸術文化分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	定員超過の場合は、抽選などで選考する場合があります。